

学校だより

学力調査特集号

いまいま 西っ子



全ての実施教科・領域で、全国・県の平均正答率を上回りました！

4月19日(火)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。本校の6年生の結果について全国や県と比較してお知らせします。今年度は、すべての教科・すべての領域の平均正答率で、全国・県を上回りました。



1 教科に関する調査結果の概要


調査結果を教科・領域ごとにまとめました。表の中の記号は、全国と本校の平均正答率を比較したものです。

「◎」…全国・県より高い

「○」…全国・県のどちらかが高い

「△」…どちらも低い

【国語】 	平均正答率%の全国との比較	学習指導要領の領域別平均正答率(%)		
		知識・技能	思・判・表	
			話すこと・聞くこと	書くこと
				
国語 A (全 14 問)	◎	◎	◎	◎

【算数】 	平均正答率%の全国との比較	学習指導要領の領域別平均正答率(%)			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
算数 A (全 16 問)	◎	◎	◎	◎	◎

○ 国語 全ての領域で、全国・県の平均正答率を（2～10ポイント）上回りました。

- ・国語の知識・技能の領域では、全国・県を10ポイント上回っています。さらに「話すこと・聞くこと」では8ポイント、「書くこと」では10ポイント、「読むこと」では2ポイントでしたが、全ての領域で全国・県を大きく上回っています。今後は、「読むこと」について「登場人物の心情について、情景描写をもとに捉える」「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に考える」「人物像や物語の全体像を具体的に想像する」ことについて、文学的教材の学習において取り扱っていきます。

○ 算数 全ての領域で、全国・県の平均正答率を（6～11ポイント）上回りました。

- ・算数の全ての領域において、各設問の平均正答率が全国・県を+6～11ポイントと大きく上回っています。評価の観点別にみても「知識・技能」では6ポイント、「思考・判断・表現」では12ポイントと大きく上回っています。教科担任制の導入や算数少数指導などの成果が出てきています。今後も、子供が自ら問題解決していく過程を大切に学習をすすめることにより、子供主体の授業を展開していきます。

【理科】 	平均正答率%の全国との比較	学習指導要領の区分・領域別平均正答率 (%)			
		A エネルギーを柱とする	A 粒子を柱とする領域	B 生命を柱とする領域	B 地球を柱とする領域
理科 (全17問)	◎	◎	◎	◎	◎

○ **理科 全ての領域で、全国・県の平均正答率を（3～13ポイント）上回りました。**

A区分とは、別の表現をすると「物理・化学」、B区分とは「生物・地学」に当たります。保護者世代だと中学校で1分野、2分野という分け方をしていたものです。そのA区分に当たる「エネルギーを柱とする領域」では+3ポイント、「粒子を柱とする領域」では+13ポイント、B区分に当たる「生命を柱とする領域」では+8ポイント、「地球を柱とする領域」では+10ポイントと大きく全国・県を上回りました。

評価の観点別にみると、「知識・理解」が10ポイント上回り、「思考・判断・表現」が9ポイント上回りました。

今後も理科における問題解決的な過程を大切に、子供が問題（課題）を自ら解決していく授業を展開していきます。

また、解決の過程を整理したり、まとめたりして表現するレポートづくりにも引き続き取り組んでいきます。

2 児童質問紙から見てくる本校6年生の様子（全国平均との比較）

「☆」…良好な結果 「★」…課題となる結果 「□」…平均とほぼ同じ ☆の数…全国との差（2ポイント差で☆1つ）

質問項目	全国比較
自分にはよいところがあると思いますか	☆☆☆
友達と協力するのは楽しいですか	☆☆
今住んでいる地域の行事に参加していますか	★
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか	☆☆
毎日同じくらいの時刻に起きていますか	★
毎日朝食を食べていますか	☆☆☆
携帯電話スマートフォン等の使い方について家の人との約束を守っていますか	□
自分でやると決めたことはやり遂げるようにしていますか	☆
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか	☆☆
学校へ行くのは楽しいと思いますか	☆
人が困っているとき進んで助けていますか	□
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	☆

○「自分にはよいところがある」と回答した子が、全国平均を大きく上回りました。自尊感情を持ち、自分の夢や目標に向かっていこうとする姿勢が見られます。また「友達と協力するのは楽しい」と回答した子も全国平均を上回りました。授業でもそうですが「協働的な活動」をする基盤が、6年生にあります。

学校では、教師と子ども、子ども同士の共有体験を大切に、子どもの自尊感情を高めていきたいと思えます。今後も活動への意欲を高められたらと考えています。

○設問への回答から、「毎日同じ時刻に寝る」といった生活習慣ができている子が多くいます。

さらに、毎日朝食を食べるといった生活習慣ができている子（家庭）が98.7%と多いことがわかりました。

○「自分がやると決めたことはやり遂げるようにしている。」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。」といった『粘り強く取り組む姿勢』がある子が全国平均より多いことがわかりました。

○「いじめはいけないことだ」とする子が、98.7%おり、安心して生活する基盤になっているようです。

※6年生の学習面の良好な結果は、この児童質問紙の結果からも分かるように、安心・安全で安定した学校生活及び家庭生活が送れていることが基盤となっているようです。